

形質変更時要届出区域台帳

豊 田 市

整理番号	整-7-2	指定年月日・指定番号	令和7年8月8日・指-18	所在地	豊田市大畑町砂山471番2及び油摺392番8の各一部		
調製・訂正年月日		令和7年8月8日（調整）・令和8年7月30日（解除）					
形質変更時要届出区域の概況		工場跡地			面積	1344.77 m ²	
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨							
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類							
土壤汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由							
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置				汚染土壤の掘削除去			
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨							
形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	令和7年7月30日	鉛及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		株式会社東立テクノクラシー	
	同上	ほう素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		株式会社東立テクノクラシー	
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
土地の形質の変更の実施状況	届出（着手）時期	完了時期	土地の形質の変更の種類		実施者	土壤搬出	汚染土壤の処理方法
	令和8年3月17日	令和8年6月19日	汚染土壤の掘削除去		株式会社岩福セラミックス	有・無	汚染土壤処理施設にて処理
						有・無	
						有・無	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 「形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態」については、土壤その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

土壌その他の試料採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類

1 調査場所

豊田市大畑町砂山 471 番 2 及び油摺 392 番 8 の各一部
(図 1 のとおり)

2 試料採取日

令和 6 年 10 月 24 日～令和 7 年 1 月 30 日 (表層調査)
令和 7 年 3 月 24 日～令和 7 年 5 月 27 日 (深度調査)
令和 7 年 4 月 24 日～令和 7 年 5 月 27 日 (地下水調査)

3 調査結果

表 1、2 のとおり

表 1 土壌調査結果 (表層及び深度調査結果)

地点名	採取深度 (m)	鉛及びその化合物	
		溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
G2-1	GL-0.00～0.50	0.089	430
	GL-0.75	0.002	<15
	GL-1.00	0.001	<15
G2-2	GL-0.00～0.50	0.011	110
	GL-0.75	<0.001	—
	GL-1.00	<0.001	—
G2-4	GL-0.00～0.50	0.10	1000
	GL-0.75	0.008	69
	GL-1.00	0.016	110
	GL-2.00	<0.001	<15
	GL-3.00	<0.001	<15
G2-5	GL-0.00～0.50	0.052	1200
	GL-0.75	<0.001	<15
	GL-1.00	0.017	<15
	GL-2.00	0.072	150
	GL-3.00	0.045	<15
	GL-4.00	0.001	<15
	GL-5.00	0.001	<15

G2-7	GL-0.00～0.50	0.10	2800
	GL-0.75	0.002	280
	GL-1.00	0.001	51
	GL-2.00	<0.001	<15
G2-8	GL-0.00～0.50	0.013	250
	GL-0.75	0.007	540
	GL-1.00	<0.001	360
	GL-2.00	<0.001	37
	GL-3.00	<0.001	<15
G3-1	GL-0.00～0.50	0.029	160
	GL-0.75	<0.001	<15
	GL-1.00	<0.001	<15
G3-3	U字溝下 現況地盤-0.65～1.15 (GL-0.05～1.00)	0.020	<15
	GL-2.00	<0.001	—
	GL-3.00	<0.001	—
G3-4	GL-0.00～0.50	0.007	390
	GL-0.75	—	460
	GL-1.00	—	15
	GL-2.00	—	<15
G3-5	GL-0.00～0.50	0.011	240
	GL-0.75	0.013	57
	GL-1.00	<0.001	<15
	GL-2.00	<0.001	<15
G3-7	GL-0.00～0.50	0.003	240
	GL-0.75	—	<15
	GL-1.00	—	17
G3-8	GL-0.00～0.50	0.004	170
	GL-0.75	—	<15
	GL-1.00	—	27
G4-1	GL-0.00～0.50	0.046	470
	GL-0.75	0.038	1900
	GL-1.00	0.003	130
	GL-2.00	<0.001	<15

G4-4	GL-0.00～0.50	0.045	270
	GL-0.75	<0.001	44
	GL-1.00	<0.001	32
基準値		0.01 以下	150 以下

地点名	採取深度 (m)	ほう素及びその化合物
		溶出量 (mg/L)
C4-1	GL-0.00～0.50	3.9
	GL-0.75	3.2
	GL-1.00	6.6
	GL-2.00	0.3
	GL-3.00	0.2
基準値		1 以下

表 2 地下水調査結果

地点名	鉛及びその化合物 (mg/L)	ほう素及びその化合物 (mg/L)
G2-1	<0.001	—
G2-4	<0.001	—
G2-7	<0.001	—
G3-1	<0.001	—
G4-1	0.002	—
G4-4	<0.001	—
C4-1	—	0.2
基準値	0.01 以下	1 以下

4 形質変更時要届出区域

図 2-1、図 2-2 のとおり

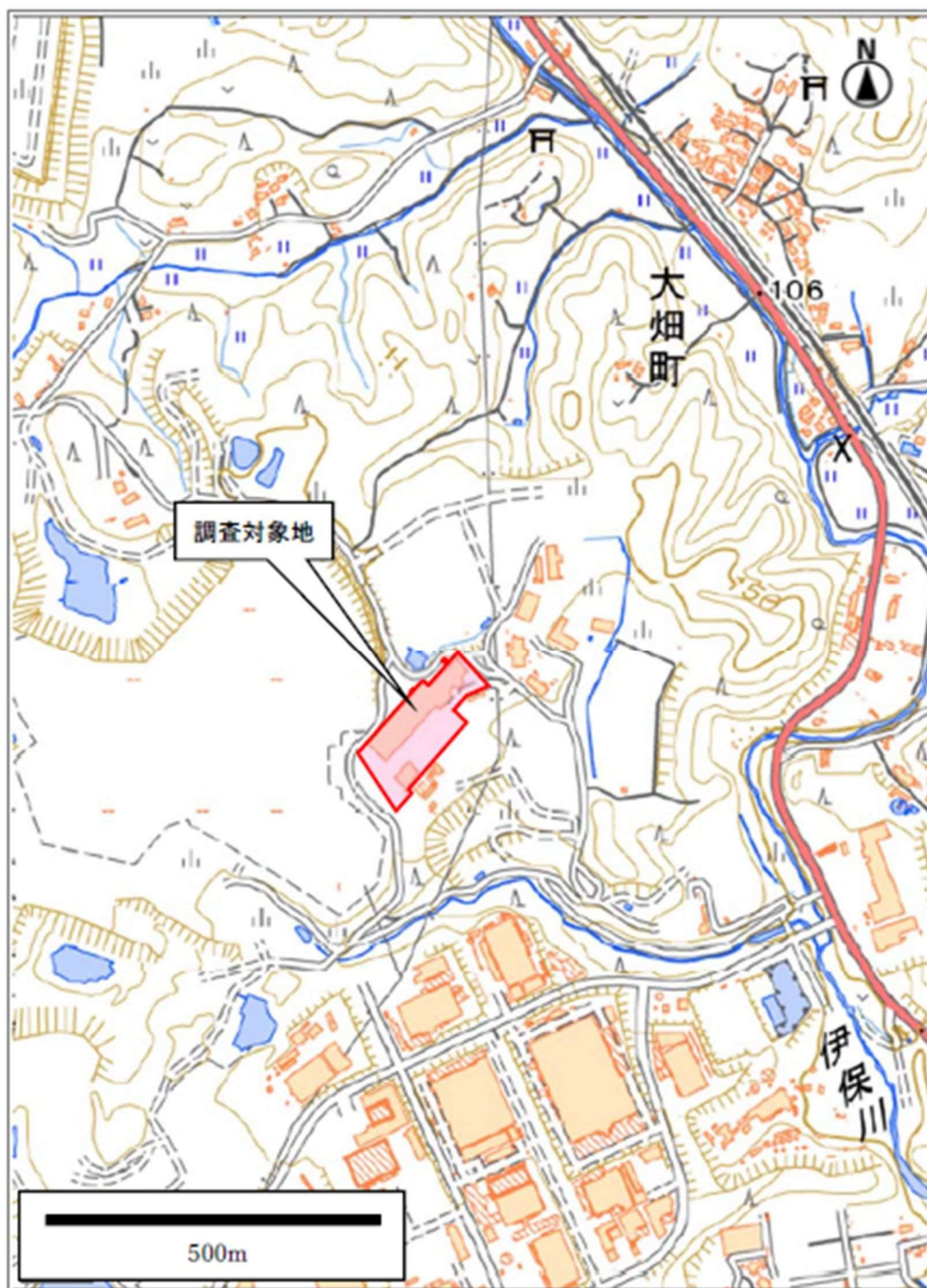
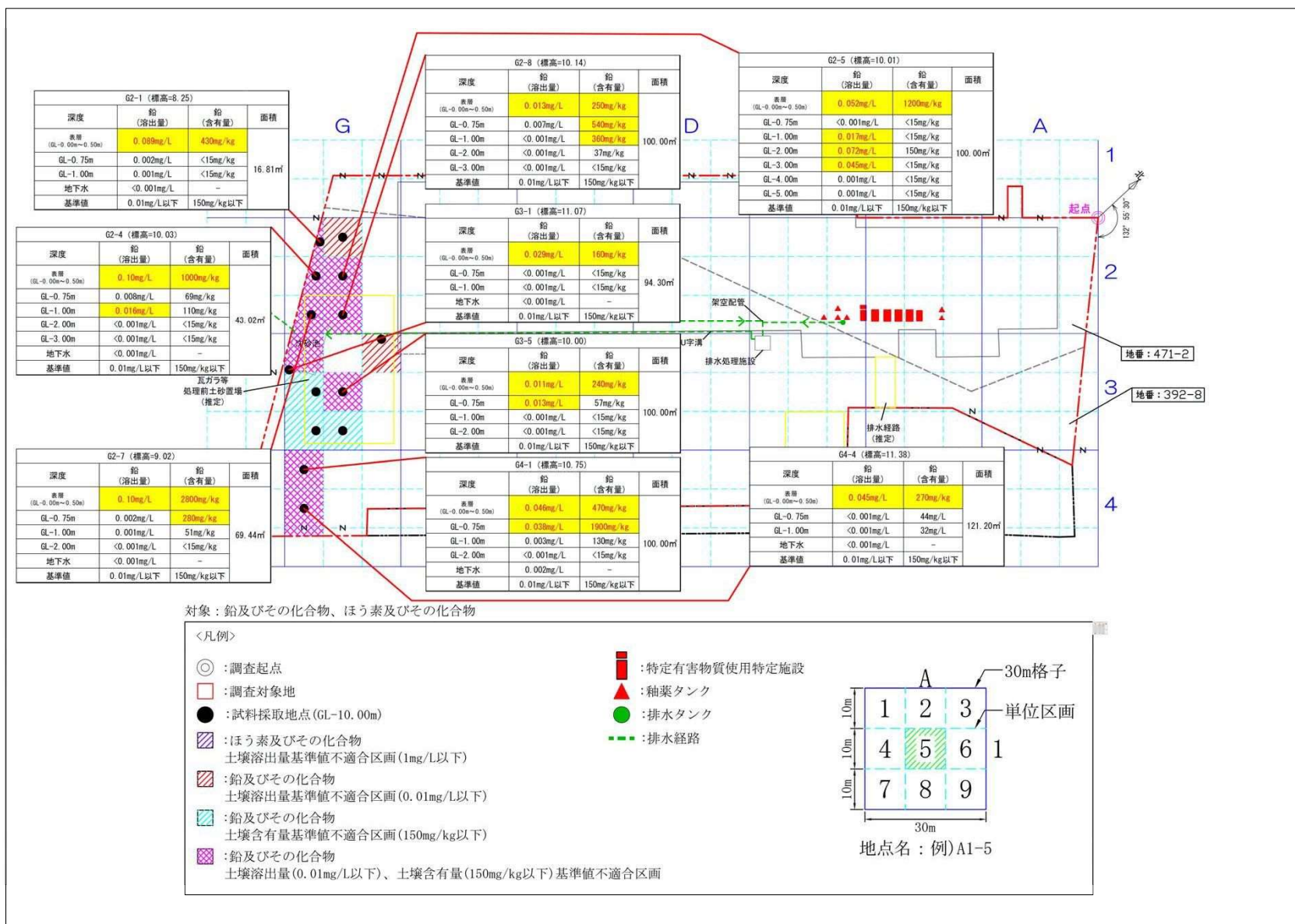
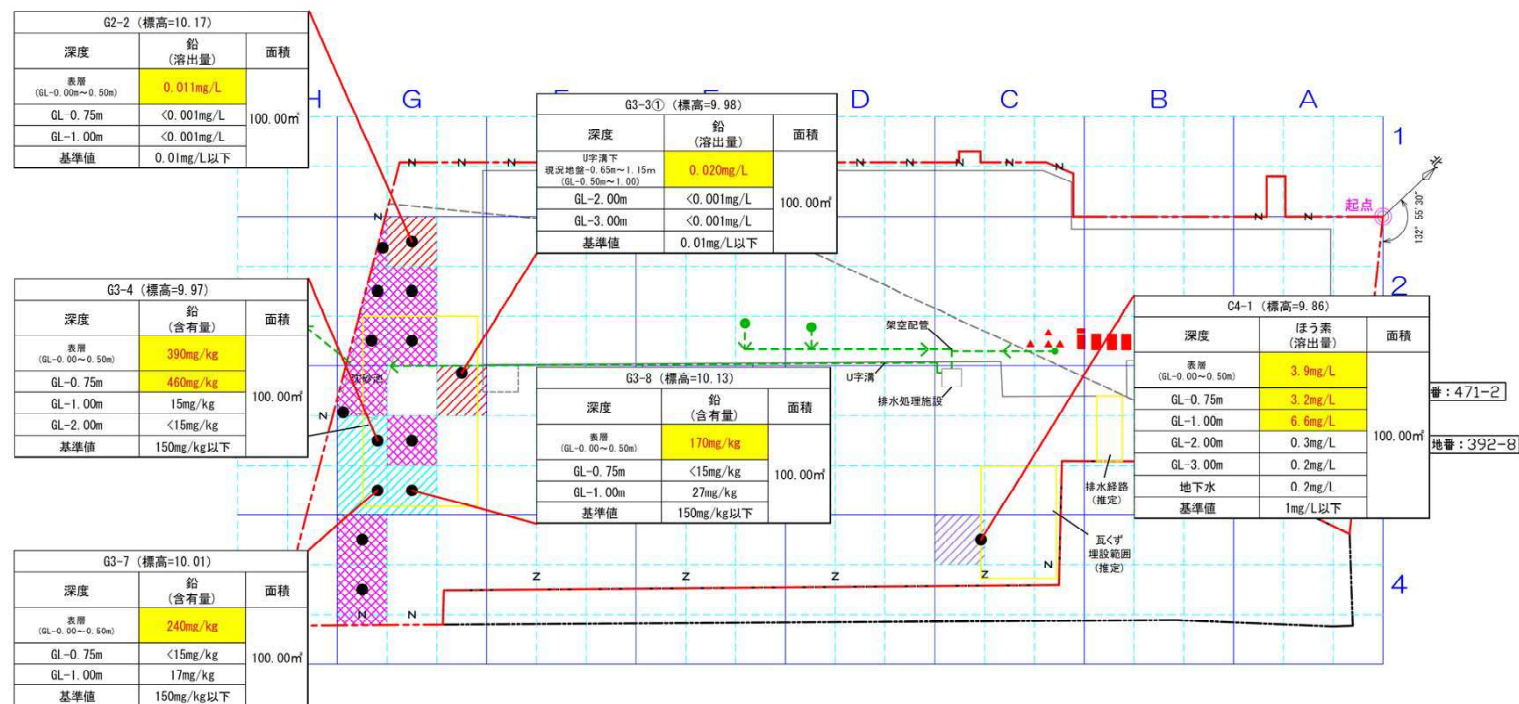


図1 調査場所（出典：国土地理院地図）





対象：鉛及びその化合物、ほう素及びその化合物

<凡例>

- ：調査起点
- ：調査対象地
- ：試料採取地点 (GL-10.00m)
- ▨：ほう素及びその化合物
土壌溶出量基準値不適合区画 (1mg/L以下)
- ▨：鉛及びその化合物
土壌溶出量基準値不適合区画 (0.01mg/L以下)
- ▨：鉛及びその化合物
土壌含有量基準値不適合区画 (150mg/kg以下)
- ▨：鉛及びその化合物
土壌溶出量 (0.01mg/L以下)、土壌含有量 (150mg/kg以下) 基準値不適合区画
- ：特定有害物質使用特定施設
- ▲：油薬タンク
- ：排水タンク
- ：排水経路

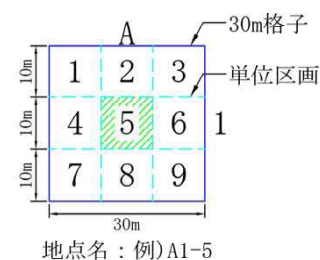


図 2-2 形質変更時要届出区域